

2020_年3_月期 通期 決算説明資料

株式会社ナガワ

東証一部：9663

2020年5月18日

目次

2019年度 通期 (2019年4月1日～ 2020年3月31日) 業績の概況

TOPIX	2
連結 決算概要	3
セグメント別：連結売上高／営業利益	5
セグメント別：概況	8
連結 設備投資／減価償却費	11

参考資料

連結 貸借対照表	13
連結 キャッシュフロー	14

2019年度 通期

(2019年4月1日～ 2020年3月31日)

業績の概況

建設市場全般

当連結累計期間（2019年4月1日～2020年3月31日）におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続く中、政府や日銀による各政策等の効果もあり、景気は回復基調が継続しておりました。その一方で、海外経済や消費税増税の影響など今後の動向に留意が必要な状況の中で、1月以降の新型コロナウイルス感染拡大により、企業の業況判断は急速に悪化し始めています。

このような情勢の中、当社グループは堅調な民間設備投資を背景にモジュール・システム建築の受注を拡大していく一方、ユニットハウス事業は旺盛なレンタル需要に対応するべく、自社と委託工場の生産能力増強を図り、生産数を拡大してまいりました。

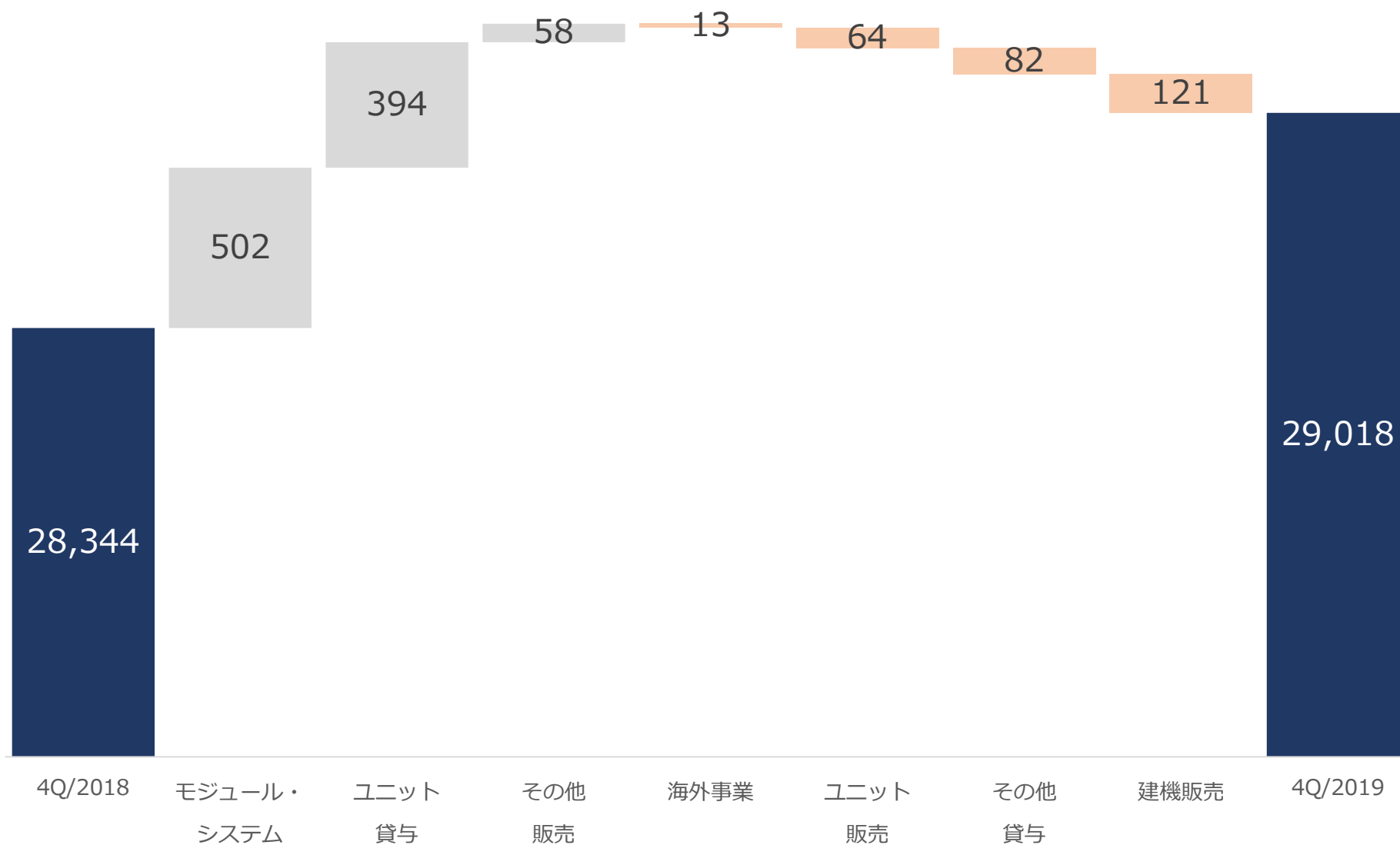
主な取り組み

- 1.モジュール・システム建築における全国上位地場ゼネコンとの請負体制の協業展開強化
- 2.海外事業における既存進出国の単年度黒字化と、欧米・東南アジア地域への次期出店国模索
- 3.教育制度改革での有資格者創出による、組織の精鋭化
- 4.物流体制の強化と、電子化による効率化推進
- 5.全国スマイルステーション（展示場）のサテライト出店加速
- 6.テレビCM導入によるブランディングの向上

	4Q/2017	4Q/2018	4Q/2019	前期比	増減率	予算計画	計画比
売上高	27,442	28,344	29,018	674	2.38	32,000	▲ 2,982
営業利益	4,281	3,794	3,536	▲ 258	▲ 6.82	4,500	▲ 964
経常利益	4,459	3,979	3,717	▲ 261	▲ 6.57	4,700	▲ 983
親会社株主に帰属する当期純利益	2,921	2,632	2,105	▲ 526	▲ 20.01	3,000	▲ 895
総資産	43,946	46,951	49,917	2,965	6.32	—	—
純資産	39,487	42,896	44,678	1,782	4.15	—	—
自己資本比率 (%)	89.9	91.3	89.5	▲ 1.8	—	—	—
1株当たり純資産	2,871.25	2,785.94	2,867.61	81.67	2.93	—	—

(単位：百万円)

(単位：百万円)



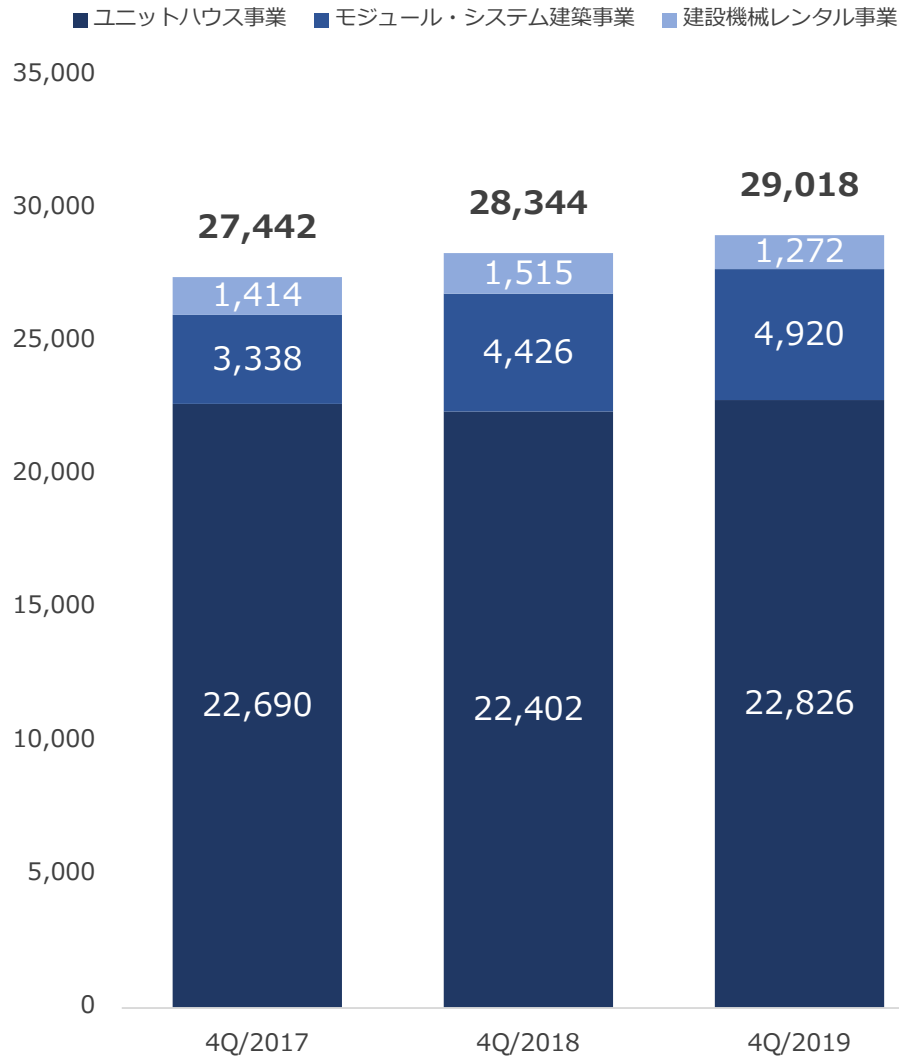
売上高	4Q/2017	4Q/2018	4Q/2019	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	22,690	22,402	22,826	423	1.89	24,350	▲ 1,524
モジュール・システム建築事業	3,338	4,426	4,920	494	11.16	5,900	▲ 980
建設機械レンタル事業	1,414	1,515	1,272	▲ 243	▲ 16.04	1,750	▲ 478
合計	27,442	28,344	29,018	674	2.38	32,000	▲ 2,982

(単位：百万円)

営業利益	4Q/2017	4Q/2018	4Q/2019	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	4,085	3,572	3,676	103	2.88	3,490	186
モジュール・システム建築事業	330	352	392	39	11.08	750	▲ 358
建設機械レンタル事業	182	216	12	▲ 203	▲ 93.98	260	▲ 248
全社又は消去	▲ 317	▲ 347	▲ 545	—	—	—	—
合計	4,281	3,794	3,536	▲ 258	▲ 6.80	4,500	▲ 964

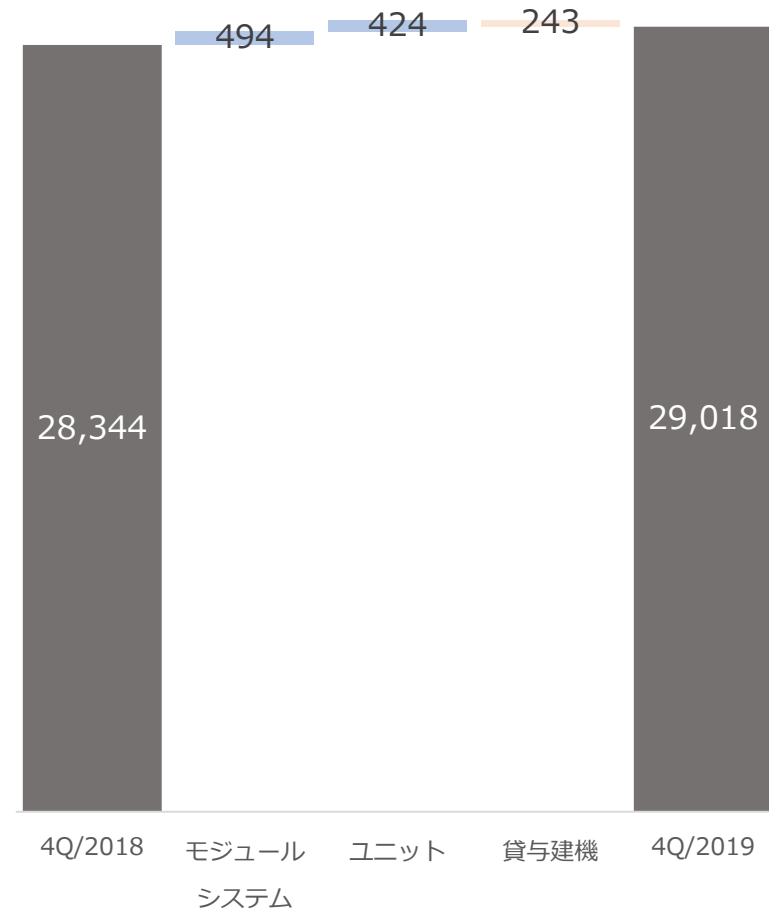
(単位：百万円)

セグメント別売上高推移



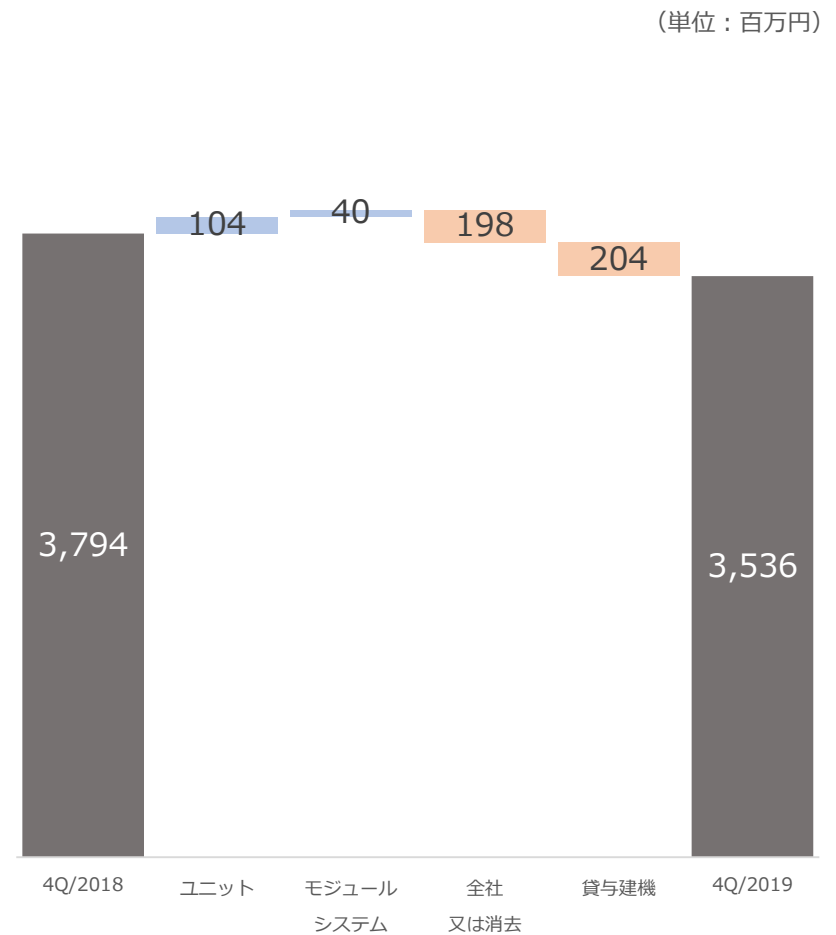
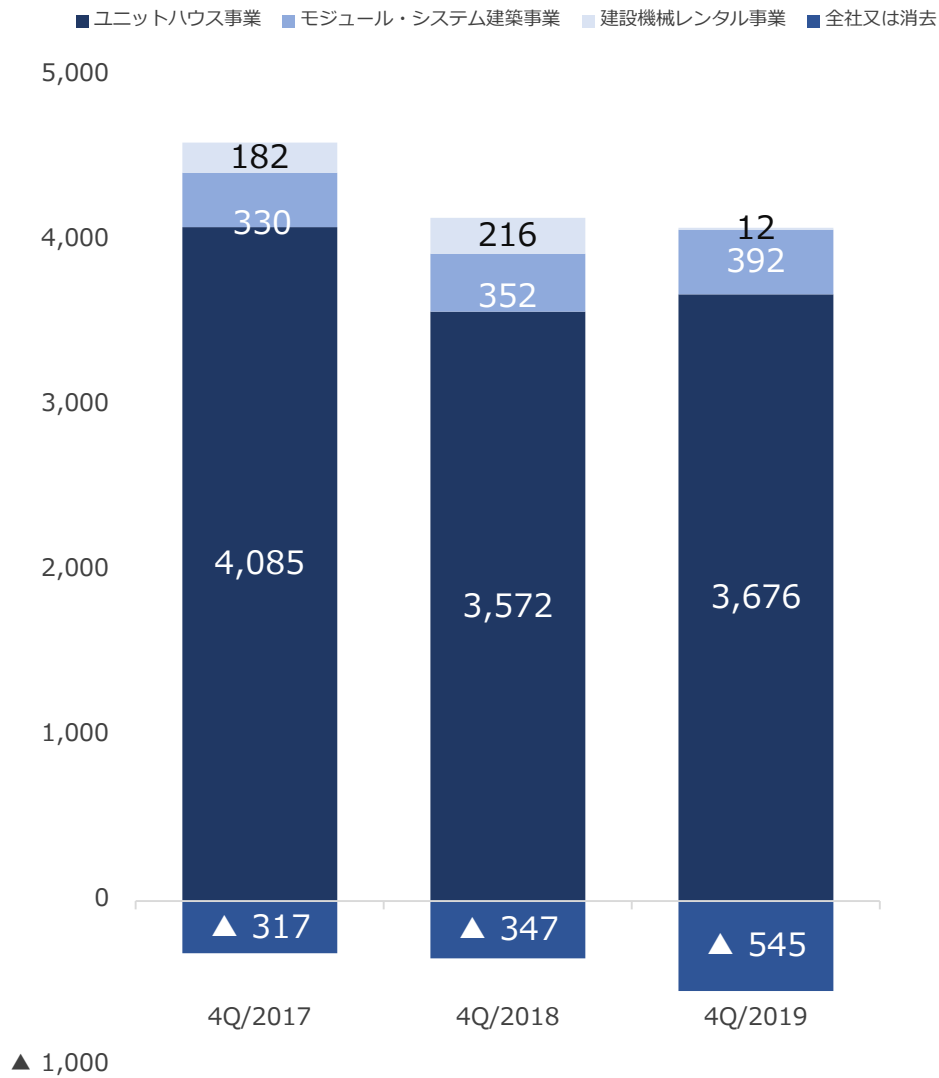
セグメント別売上高増減

(単位：百万円)



セグメント別営業利益推移

セグメント別営業利益増減

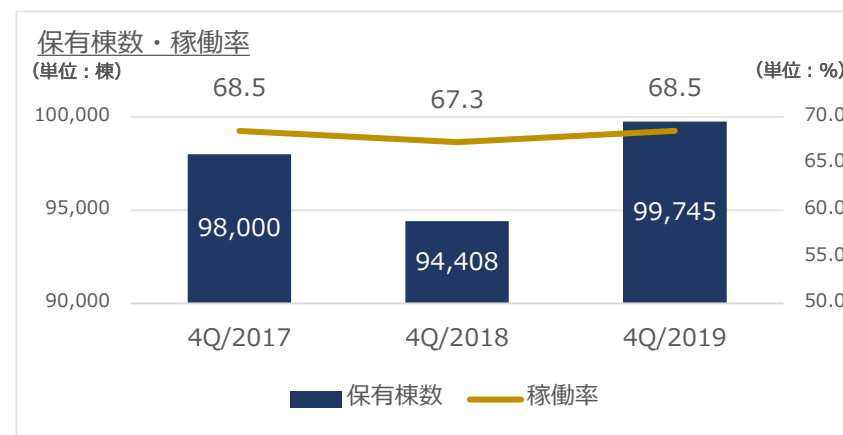
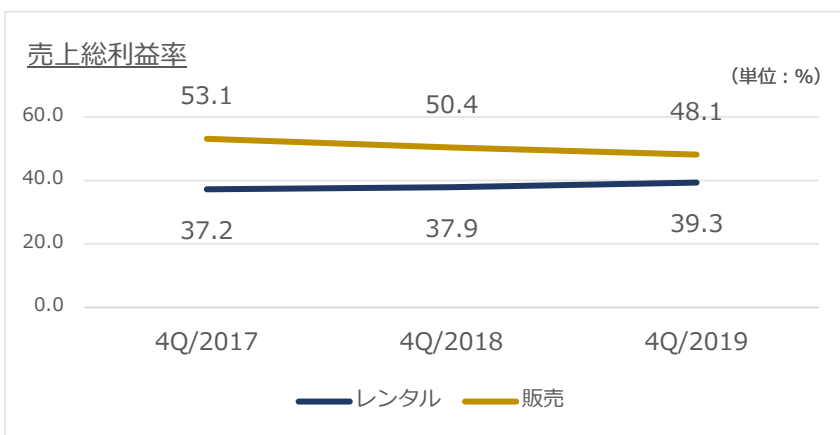
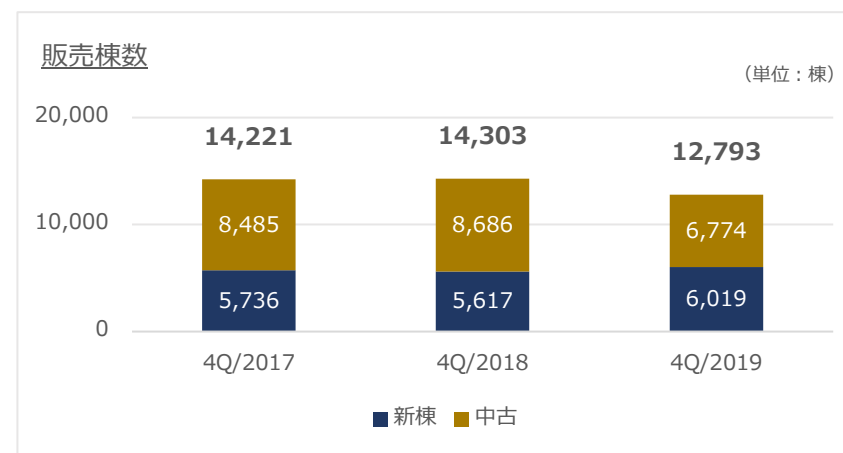
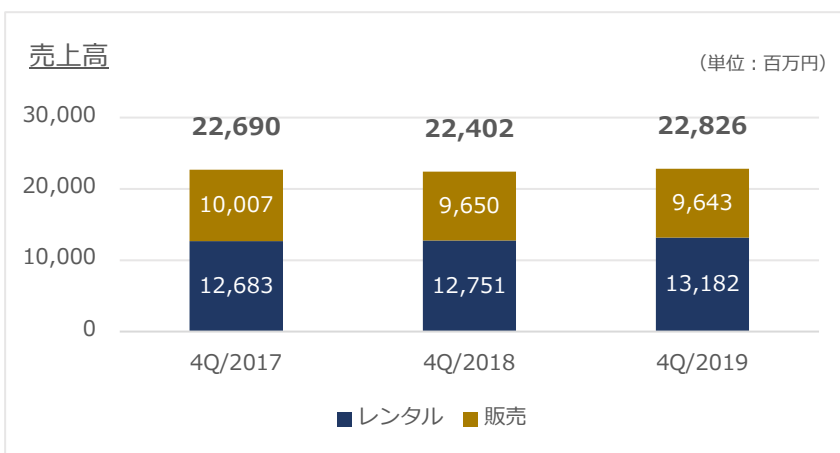


ユニットハウス事業

(単位：百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
22,826	▲ 424	▲ 1,524	3,676	104	186

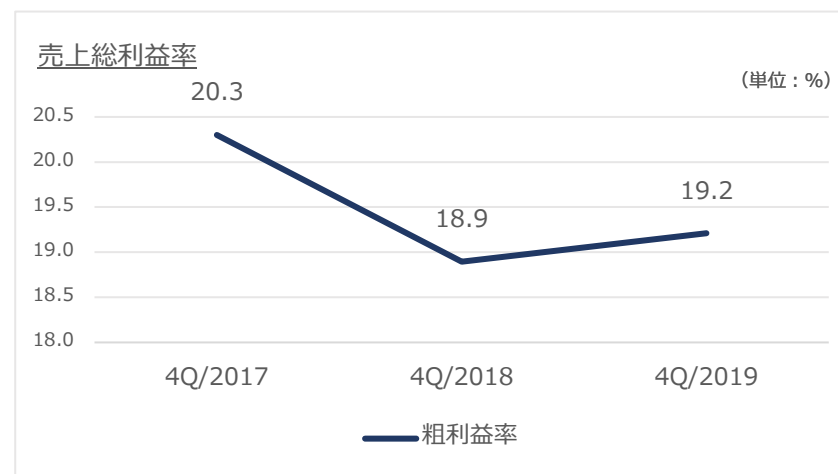
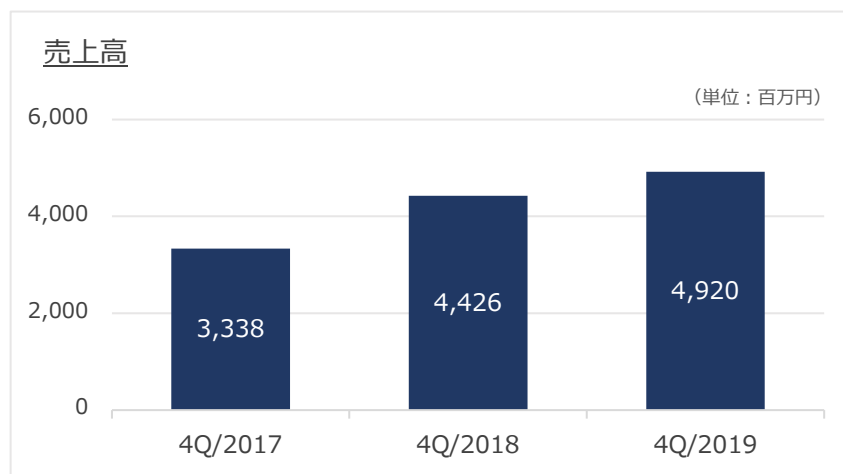
全国の災害復旧工事や再開発事業により期初から需要増にて推移したレンタル市場に対応するため、生産能力増強と施策的な中古販売の抑制を行った結果、保有棟数・稼働ともに増加し、前期より増収となった。また中古販売施策により、中古販売棟数および利益率は前期比減となったものの、新棟販売においては品揃えと提案強化により増加した。



モジュール・システム建築

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
4,920	▲ 494	▲ 980	392	40	▲ 358

民間需要を規格建築で捉えるために、製品標準化の加速・施工管理体制の強化・設計システムの強化等を図った結果、全国的に事務所や工場・倉庫の民間設備投資案件の受注拡大につながり、前期比増収となった。

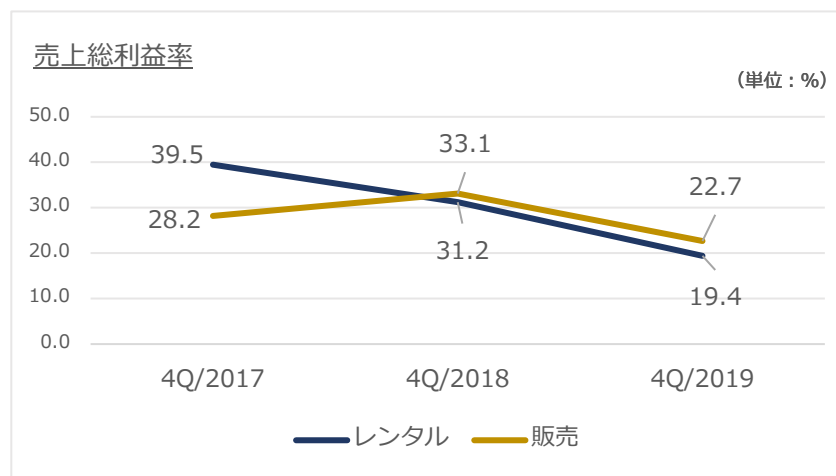
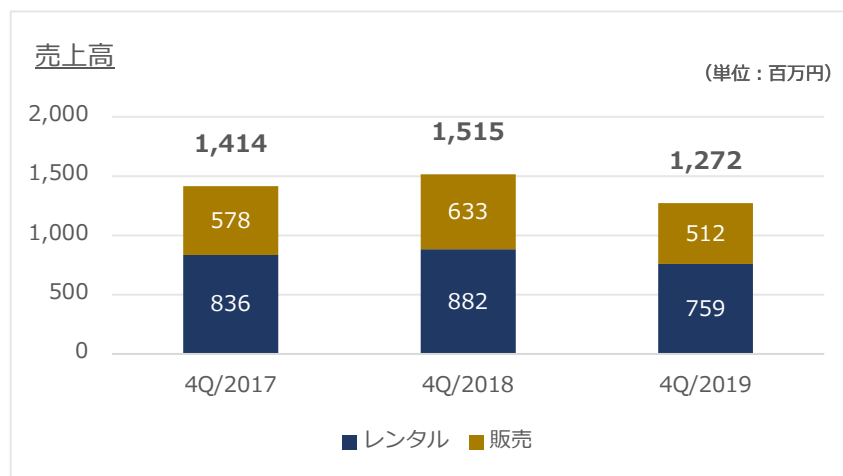


建設機械レンタル事業

前期までの災害復興予算による公共工事が減少し、レンタル売上高は減収。また建設機械の中古市場も海外マーケット停滞の影響を受け、販売を抑制したため、減益となった。

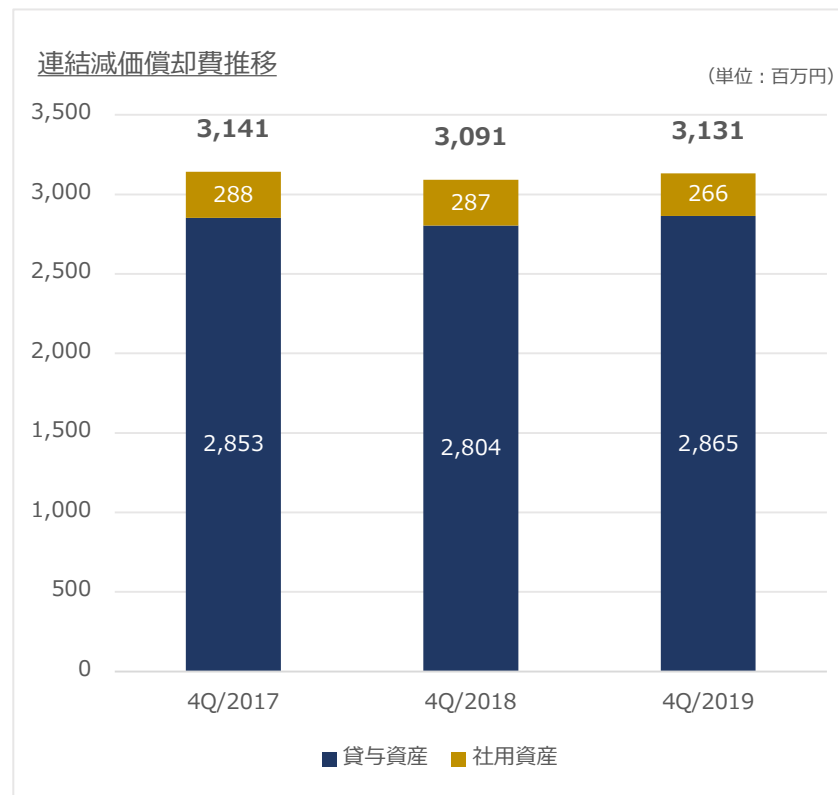
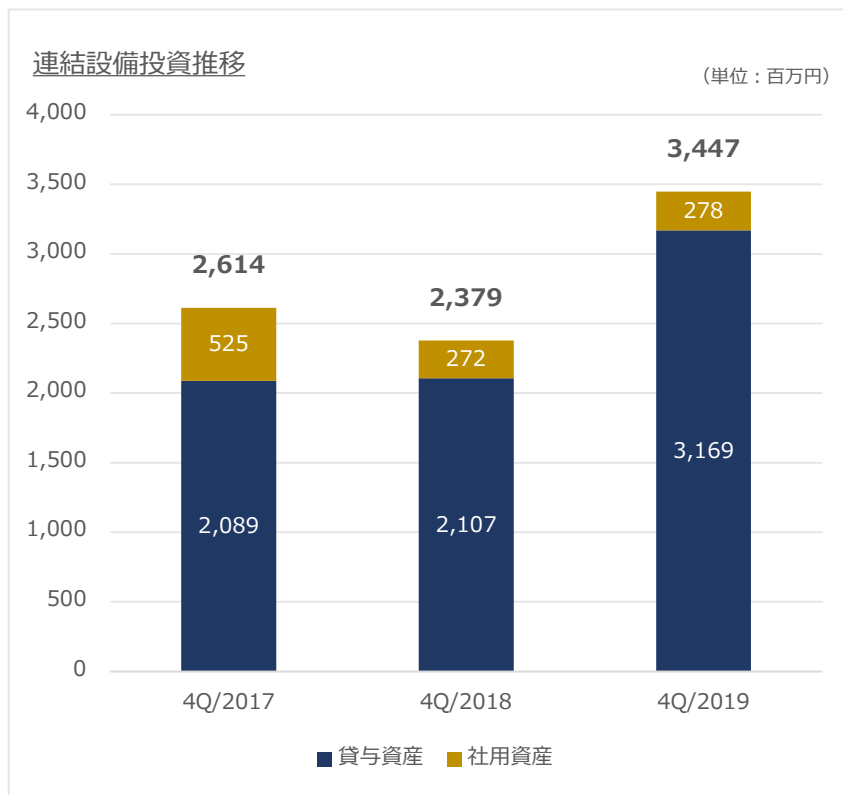
(単位：百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
1,272	▲ 243	▲ 478	12	▲ 204	▲ 248



設備投資/減価償却費

旺盛なレンタル需要に対応するため、工場の生産能力増強を行い貸与資産の新規投入を実施したことにより設備投資が増加。あわせて施策的な中古販売抑制対策を行った結果、保有棟数及び減価償却費も増加している。



参 考 资 料

連結 貸借対照表

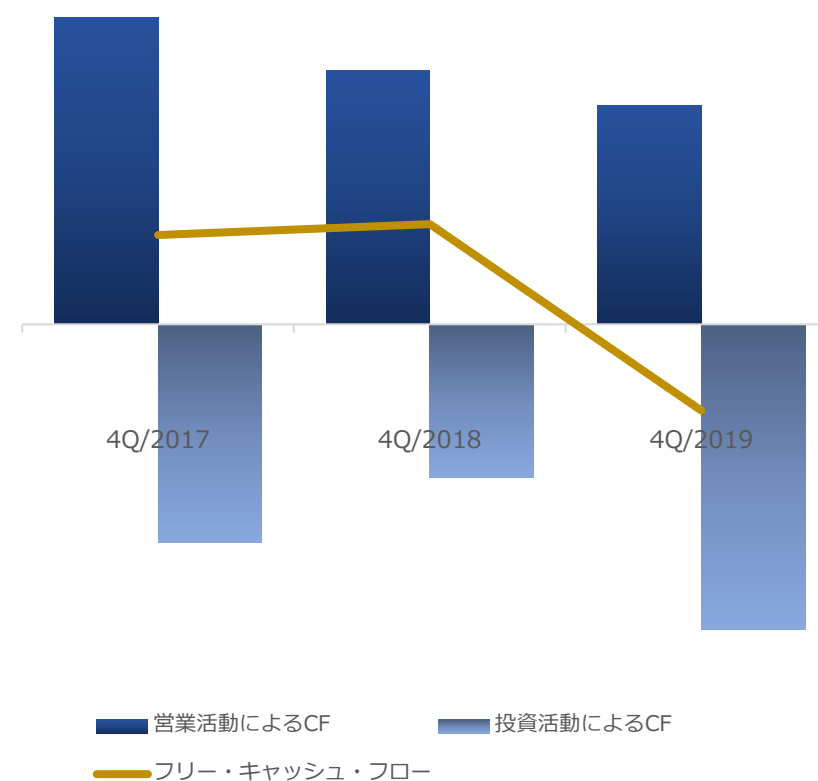
	2017年度	2018年度	2019年度 4Q/2019
現金及び預金	13,651	15,719	14,575
受取手形及び売掛金	8,206	8,559	8,292
商品及び製品	1,332	1,455	1,767
その他	570	469	525
流動資産合計	23,759	26,203	25,159
貸与資産	8,326	7,590	7,866
建物及び構築物	1,727	1,703	1,646
土地	6,564	6,425	6,442
その他	193	160	158
有形固定資産合計	16,810	15,880	16,115
無形固定資産	82	116	126
投資その他の資産	3,295	4,750	8,516
固定資産合計	20,187	20,748	24,757
資産合計	43,946	46,951	49,917

	2017年度	2018年度	2019年度 4Q/2019
買掛金	1,980	2,044	2,069
その他	2,347	1,851	2,990
流動負債合計	4,327	3,895	5,059
固定負債	132	159	179
負債合計	4,459	4,055	5,239
資本金	2,855	2,855	2,855
利益剰余金	33,596	35,525	36,708
その他	2,992	4,644	5,687
株主資本合計	39,443	43,025	45,251
その他の包括利益累計額	17	▲ 149	▲ 573
純資産合計	39,487	42,896	44,678
負債純資産合計	43,946	46,951	49,917



連結 キャッシュフロー

	4Q/2017	4Q/2018	4Q/2019
税金等調整前四半期純利益	4,471	3,886	3,195
減価償却費	3,141	3,091	3,169
貸与資産の取得による支出	▲ 2,089	▲ 2,107	▲ 3,169
仕入債務の増減額	335	64	24
法人税等の支払額	▲ 1,336	▲ 1,620	▲ 1,116
その他	▲ 1,002	▲ 405	401
営業活動によるCF	3,520	2,909	2,504
社用資産の取得による支出	▲ 517	▲ 308	▲ 274
信託受益権の純増減額	-	-	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	▲ 43	▲ 28
その他	▲ 1,981	▲ 1,410	▲ 3,191
投資活動によるCF	▲ 2,498	▲ 1,761	▲ 3,493
フリー・キャッシュ・フロー	1,022	1,148	▲ 989



NAGAWA

Social Creation Company

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。